

奨励賞



江副

設計担当者

江副敏史

(株)日建設計、大阪府建築士会

共同設計者

小畑 香

(株)日建設計
大阪府建築士会

芳木達彦

(株)日建設計
大阪府建築士会

劇場／大阪府枚方市

枚方市総合文化芸術センター

構造 | 鉄筋コンクリート造・
鉄骨鉄筋コンクリート造・
鉄骨造

階数 | 地上5階・地下1階・
屋上1階

敷地面積 | 13,146.62㎡

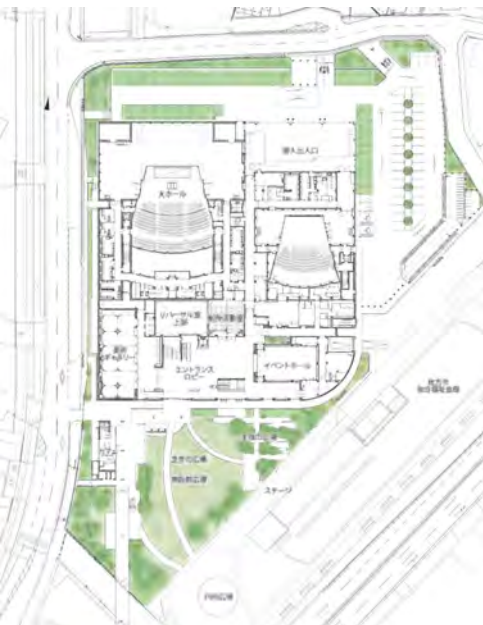
建築面積 | 6,906.76㎡

延べ面積 | 14,383.75㎡

竣工 | 令和3年5月17日



1



配置図兼1階平面図



2



3



4

1 施設前広場より正面エントランスを臨む。豊かな緑化空間が人々を迎え入れる
2 トップライトと光庭による自然光が溢れるエントランスロビー

3 すべての機能が顔を出すエントランスロビー。イベントホール側をみる
4 煉瓦に包まれた大ホール。コンパクトに設えたからこそその「臨場感」を味わえる

写真…伊藤 彰

選評

枚方市駅西側、雑居ビル群を抜けた先の決して広くはない敷地に、この施設は建っている。

まず特徴的なのは、水平に伸びる緑の外観と階高3mを基本とした内部空間である。低く抑えられた天井高は、身体的な親密さと同時に上下階の関係を近づける。あえて暗くしたインテリアが鬱陶しくならないのは、徹底した水平開口とその外に広がる緑の効果であり、公共のホール施設のロビーとして「あるようで無かつ

た」新鮮な手法といえる。

もう一つは、コンパクトさを逆手に取った、機能の重ね合わせである。エントランスロビーにはイベントホールやギャラリー・大小ホールのホワイエなどが面し、ロビーとの連携によって多様な使い方が可能となる。またリハーサル室は大ホール楽屋と連携した裏方スペースだが、普段はロビーから見下ろせる市民のハレの場にもなる。大小ホールを使用しない時でも、来訪者

は日常的に賑わいの中に身を置くことができる。

このように、使い勝手は市民ユースを基本としながらも、プロ演目に対応できる質の高い空間が、コンパクトなボリュームの中に一分の無駄もなく詰め込まれている。釉薬がけの煉瓦壁や杉材など素材の使い方も洗練されていて素晴らしい、これらの点が総合的に高く評価された。

(冨永祥子)